

米国政府が実施した臨界前核実験に抗議し、 実験計画の中止を求める意見書

米国政府は、日本時間 6 月 8 日早朝、米国ネバダ州の地下核実験場において、今年 2 回目、通算 17 回目となる臨界前核実験を実施しました。

米国エネルギー省は、「核反応が連続して起こる臨界には、達しなかったことが確認された」との発表をしていますが、実験が核兵器の安全性や性能を維持することを目的としていることから、核実験といわざるを得ません。

我が国は、核の恐ろしさを知る世界で唯一の被爆国であり、核兵器廃絶を願う我が国民と国際世論を踏みにじる行為である今回の実験は、断じて許されるものではありません。

世界の恒久平和を希求する我々は、たとえどのような理由があろうとも、我々人類を、そして、地球上の生物を破滅させる核のいかなる実験をも容認することはできません。

よって、千代田区議会は区民とともに、米国政府が実施した、臨界前核実験に対し強く抗議するとともに、日本政府として今後いかなる実験計画も中止するよう働きかけることを求めるものです。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成 14 年 6 月 13 日

千代田区議会議長

内閣総理大臣 宛